

町田市議会議員

# 渡辺げんたろう



昭和 48 年 町田市玉川学園生まれ 玉川学園在住  
玉川中央幼稚園／町田市立第五小／町田市立南大谷中／都立町田高校／  
日本大学法学部法律学科卒／新光証券(現みずほ証券)勤務  
平成 22 年町田市議会初当選 平成 26 年 2 期目当選 平成 28・29 年度町田市議会災害対策委員長

**党利、党略、政局よりも 町田が良くなることを 第一義に！**

消防団第一分団第五部部长／エイサー町田琉二代目会長／消防少年団副団長／神輿会「幸神睦」会員

## 町田を世界へ発信しよう

### ■オリンピック文化プログラムがもつ可能性

2016年8月、大歓声の中、ブラジルのリオデジャネイロ五輪が閉幕しました。

閉会式では2020年東京五輪への引継ぎ式が行われ、プレゼンテーションの映像にマリオやドラえもん、キティちゃん、キャプテン翼などが登場し、首相自らマリオに扮して会場内に登場するといった前代未聞のサプライズ・パフォーマンスが行われ、世界中を大いに沸かしました。

これらパフォーマンスはニューヨークタイムスなど世界的メディアによって配信され、「これまで日本に行きたいと思わなかったが、この演出を見て東京には必ず行きたくなった」と大絶賛を受けるなど、費用以上の効果がありました。リオの閉会式の演出は、日本のソフト文化の力で世界中の耳目を集め、次回の東京大会に大きな期待を持たせた点で大成功でした。

オリンピックは世界最大のイベントであり、スポーツだけではなく文化の祭典でもあります。

2012年のロンドン大会では、北京大会終了直後から4年間かけてイギリス全土でイベントが開催され、来たるオリンピックの気運を醸成しました。

例えば、「イギリス国内のあらゆるベルを3分間ならせ！」というイベントが大会の開幕に合わせて行われ、イギリス全土で290万人もの人々が思い思いに鐘を鳴らし、ロンドン五輪の開幕を高らかに告げました。単純なイベントも多くの人で行えば壮大ですし、参加した人は皆、自分がロンドン五輪の開会を告げたのだと、一生の記憶に残るでしょう。

このようなイベントが4年間で17万7717件開催され、参加者数は4340万人を記録し、結果として大会後もロンドンを訪れる方々は増加し続けています。

### ■これからの3年間

3年後の東京大会は、1つの都市で2回目の五輪大会が開催される世界初の大会です。

さらに町田市では、2018年に町田市制60周年、2019年にラグビーワールドカップ、2020年に東京五輪と続きます。

ロンドン大会の文化プログラムが4年間かけて開催されたように、東京五輪の文化プログラムはリオデジャネイロ大会終了と同時に始まっており、町田市でも2020年に向けて大きなムーブメントを作っていくことが必要です。

町田市では現在、1年かけて計画を策定し、2018年度から文化プログラムを開始するとしていますが、私はこれでは遅すぎると考えています。すでに全国各地では、文化プログラムを見据えた事業が行われており、この流れに町田市が取り残されてはなりません。

町田市を全国にPRする千載一遇のチャンスなのです。このチャンスを活かすためには、スピード感を持ってすぐにでも市民からアイデアを募り、実行に移していくべきです。

## ■ 2020年東京大会 開会式多摩会場を町田で！

私は昨年から「2020年東京大会 開会式多摩会場を町田で！」と議場で提案してきました。

1964年の東京大会を経験された方は、当時のあの瞬間に自分が何をしていたか、きっと記憶にあると思います。どの年代の方にとっても、オリンピックは人生と重ねて記憶に残る大きな節目ではないでしょうか。未来へのパスポートとなる次の東京五輪を、より多くの方の輝かしい記憶に残すためには、従来の“観る”祭典ではなく“参加できる”祭典を皆さんとともに創りあげることが大切です。

例えば、町田市中の音楽家や小中高大学生が一同に会し、町田で80年続くベートーベンの第九合奏合唱を最大の人数で同時に演奏することは、ベートーベン生誕250年となる東京五輪の年に多数の市民が参加できるイベントとして、世界に注目されるのではないのでしょうか。

そのフィナーレに、1964年東京大会で上空に五輪のマークを作り出した“ブルーインパルス”に町田会場の上を飛んでもらうようなことができれば、皆様の記憶に強烈に残るはずですよ。

このアイデアをオリンピックパラリンピック担当大臣の丸川珠代さんにお話ししたところ、

「非常に面白い発想だ！さっそくIOCに上申して全国での実現可能性について検討しよう！」と、大変興味を持ってくださいました。

皆さまの記憶に残り、世界に町田を発信できる2020年東京大会に向けて、頑張っまいります！



(写真)  
丸川珠代オリンピックパラリンピック担当大臣と

これ以外にも、多方面にわたり

全力で邁進しています！

【災害にさらに強いまちへ！】

町田市の災害対応能力を高めるため、初当選の頃より、危機管理体制の拡充に向けた組織の改変を強く求めてきました。

この度、本会議で無事採択されれば、現在の「町田市市民部防災安全課」が「町田市防災部」に格上げされることとなります！

町田市議会議員 **渡辺げんたろう**